



2026 年 9 月 24 日

各 位

会 社 名 Green Earth Institute 株式会社
代表者名 代表取締役 CEO 伊 原 智 人
(コード番号：9212 東証グロース)
問合せ先 取締役 CFO 管理部長 浦 田 隆 治
(TEL 03-5315-0531)

NEDO バイオものづくり革命推進事業における酵素評価事業の追加について

Green Earth Institute 株式会社（証券コード：9212、以下「GEI」）は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下「NEDO」）の「バイオものづくり革命推進事業」において、大王製紙株式会社（以下「大王製紙」）とともに「製紙産業素材を活用したバイオ燃料・樹脂原料等の商用生産に向けた研究開発・実証」事業を実施しております。

このたび、本事業における研究開発のさらなる高度化を図るため、実施計画に含まれる酵素評価の内容および規模を拡充することとなりましたので、お知らせいたします。

本追加事業では、GEI が開発を進める GWE（GEI Wood to Ethanol）※²プロセスのテクノロジーパッケージの中核技術である連続同時糖化発酵プロセス（Continuous Simultaneous Saccharification and Fermentation）に適した国内外の酵素の評価及び最適化を行います。この追加事業により、商業生産におけるコスト低減実現にむけて酵素の長期安定性（リサイクル性能）検討のための補助金が追加され、本事業をより加速させることが期待されます。

本追加事業に係る GEI への補助金の総額は、2026 年度から 2030 年度までの 5 か年で 43,800 千円を予定しております。なお、本事業全体について、本追加事業により、GEI としては、以下の事業計画となっております※³。

(単位：千円)

年 度※ ⁴	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
GEI 決算期	2024 年 9 月期	2025 年 9 月期	2026 年 9 月期	2027 年 9 月期	2028 年 9 月期	2029 年 9 月期	2030 年 9 月期	2031 年 9 月期
補 助 金	12,047	120,743	453,870	474,010 (25,500)	172,230 (6,000)	次回のステージゲート通過後確定 (12,300)		

※（ ）内は今回の追加分の金額

GEI の GWE プロセスは、木質バイオマスから低コストでバイオエタノールを製造することを目指しておりますが、本事業により糖の収率向上やプロセス最適化を進めることで、製造コストのさらなる低減を実現し、GWE プロセスの競争力強化が期待できます。

GEI は、中長期ビジョンにおいて、GWE プロセスを中心としたバイオエタノール生産技術のテクノロジーパッケージを使って「世界を変える挑戦：バイオ燃料エネルギー革命」という成長モデルをお示しております※⁵。今回の追加はこの成長モデルの実現の可能性を上げるものであります※⁶。

今後の見通し

本件は、GEI の 2027 年 9 月期以降の営業外収入の増額となるものであり、2026 年 9 月期の業績への影響についてはございませんが、今後、公表すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

※1 GEI の既出の関連ニュースリリースとしては、以下のとおりです。

2026 年 7 月 15 日 [「中長期ビジョン策定に関するお知らせ」](#)

2026 年 7 月 2 日 [「木質バイオマス由来パルプからのバイオエタノール生産において連続同時糖化発酵プロセスによる 34 日間連続運転を達成」](#)

2025 年 3 月 26 日 [「NEDO バイオものづくり革命推進事業に「製紙産業素材を活用したバイオ燃料・樹脂原料等の商用生産に向けた研究開発・実証」の助成期間延長の交付決定通知」](#)

2024 年 3 月 27 日 [「NEDO バイオものづくり革命推進事業に「製紙産業素材を活用したバイオ燃料・樹脂原料等の商用生産に向けた研究開発・実証」の確定通知（修正）のお知らせ」](#)

2024 年 2 月 5 日 [「NEDO バイオものづくり革命推進事業に「製紙産業素材を活用したバイオ燃料・樹脂原料等の商用生産に向けた研究開発・実証」の確定通知」](#)

2023 年 10 月 11 日 [「NEDO バイオものづくり革命推進事業に「製紙産業素材を活用したバイオ燃料・樹脂原料等の商用生産に向けた研究開発・実証」の採択決定」](#)

※2 GWE (GEI Wood to Ethanol) プロセス

GEI が独自に開発した、木質バイオマス由来パルプを原料とするバイオエタノール生産プロセス。製紙会社で生産される木質パルプ等を原料とし、パルプを糖化する酵素と、糖からエタノールを生成する酵母を循環利用する「連続同時糖化発酵プロセス (Continuous Simultaneous Saccharification and Fermentation)」により、を中核技術としています。本プロセスの特長は、連続運転期間の長期化にあります。従来型のバッチ方式と比較して、設備の稼働と休止の間に必要となる洗浄・準備工程の頻度を大幅に低減大幅な連続運転とすることが可能となり、年間操業日数の最大化を実現します。その結果、①バイオエタノールの年間生産量の増加、②酵素の使用量削減、③ユーティリティ（電力・蒸気・水等）消費量の削減によるトータルの生産コスト低減を実現します。

※3 補助金額は、NEDO から支払われる予定の GEI の担当分の上限額であり、実績により変更することがあります。本事業では、2027 年度に次のステージゲートが予定されており、社会実装・技術推進委員会による審査を踏まえて、事業の継続・中止の判断や予算の増額・縮減等の条件がつく場合があります。

※4 「年度」は当年 4 月から翌年 3 月までの 1 年間です。

※5 ビジネスモデル | 2階建ての成長エンジン（中長期ビジョンP.6 参照） [140120260715593711.pdf](https://www.fasf.or.jp/140120260715593711.pdf)



※6 中長期ビジョン2階建て構造との対応関係



以上